

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福島県立医科大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	小児がん長期フォローアップインテンシブコース（インテンシブ）（テーマ②）						
対象職種・分野	医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなど						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・小児がんのフォローアップレベルを理解し、レベルに応じたフォローアップ計画を立案できる医療者。 ・疾患ごとの治療内容を把握し、特徴的な晩期合併症について理解できる医療者。 ・臓器別の合併症について理解し、適切な検査や専門医への紹介などに対応できる医療者 ・患者や家族のQOLや心理的、社会的問題について把握し、適切な対応ができる医療者 ・復学・進学・就労などの支援、生命保険や手帳取得、利用可能な社会資源などについて理解できる医療者 ・治療終了後のワクチン接種について理解し、実践できる医療者 						
修了要件・履修方法	<ul style="list-style-type: none"> ・日本小児血液・がん学会 小児・AYA世代がんの長期フォローアップ研修への参加 ・本教育プログラム・コースで定める科目について、オンラインで1時間、対面で5時間、小児AYA長期支援センター実習5時間 合計10時間以上を履修し、課題レポート審査で合格すること。 						
履修科目等	<p><必修科目></p> <p>日本小児血液・がん学会 小児・AYA世代がんの長期フォローアップ研修修了 小児がん総論講義（オンライン1時間）、小児造血細胞移植講義（対面1時間）、 小児造血細胞移植後フォローアップ講義（対面1時間）、小児がん家族支援・問診票の活用（対面1時間）、小児がん予防接種講義（対面1時間）、就学・就労・教育支援（対面1時間）、小児AYA長期支援センター実習実習（5時間）</p>						
がんに関する専門資格との連携	小児血液・がん専門医（日本小児血液・がん学会）の研修施設として認定。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> ・小児がんの長期支援に関するコースは今までなかった。 ・当院小児AYAがん長期支援センターが実際に稼働しており、多くの患者が受診しているが、このような患者への対応を円滑に行うためには、専門的な知識が必須である。 ・医師のみでなく、幅広い職種に小児がんフォローアップについて理解頂き、今後継続的に支援できるような体制整備が必須である。 ・小児がん治療後の長期フォローアップガイド（クリニコ出版）を参考書として、長期フォローアップについて講義、実習を行い知識を定着させることが可能である。 						
指導体制	小児腫瘍内科医師数名、小児AYAがん長期支援センター医師および看護師が主体となり講義、実習を行う。						
修了者の進路・キャリアパス	コース終了後は、小児腫瘍内科病棟、小児腫瘍内科外来、小児AYAがん長期支援センター外来、小児がん相談窓口などで、小児がんサバイバーの支援にあたることが可能である。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
<small>※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	0	3	3	3	3	3	15
受入目標人数設定の考え方・根拠	小児腫瘍内科病棟、小児腫瘍内科外来、小児AYAがん長期支援センター外来、小児がん相談窓口などの担当者および医師の移動などを考慮すると年3名程度の受け入れが妥当と考えられる。						